

実施日：11月16日（3校時）	
領域：特別の教科 道徳	
取組名：好きなものは好き	
対象：3年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャイアンとドラえもんの気持ちを考える活動を通して、自分の特徴に気づき、よいところを伸ばそうとする道徳的態度を育てる。 ・ 性に対する固定的な考え方にとらわれず、一人ひとりの違いを認め合い、自分の好きなものを好きと言えることを大切にしようとする態度を育てる。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おままごとが好きなジャイアンに対して、ドラえもんがどんなことを言っているか発表する。 ・ 自分の好きなものをひみつにしているジャイアンの気持ちについて考える。 ・好きなものを好きと言えないジャイアンの気持ちを考え、話し合う。 ・ ジャイアンとドラえもんのそれぞれにどんな言葉をかけるか考える。 ・ 本時の学習をまとめる。 	
ウ 連携先：宍粟市人権推進課、宍粟市立一宮北中学校、家庭	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宍粟市人権推進課の方から3年生に適した教材を紹介していただき、授業内容について検討した。また、授業参観後、授業における性に関する考え方について、意見をいただいた。 ・ 宍粟市立一宮北中学校とは、相互に授業を公開し参観した。 ・ 家庭には授業の内容や児童の発言を学級通信で知らせた。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9年間（小学校1年から中学校3年）を通した性の多様性の授業カリキュラムを作成するため、小中全職員で夏季研修を実施し、指導案を検討した。 ・ 学年に応じて計画的に性の多様性の授業を進めている。 ・ 授業の様子を動画で撮影し、小中職員がいつでも視聴できるようにしている。 ・ 教職員や宍粟市人権推進課の方が授業を参観し、意見交換し合っている。 ・ 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全職員で意思統一している。ペア学習やグループ学習などを活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育てている。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の発言 ・ ワークシート、感想 	
<p>キ 成果</p> <p>「ままごとは女の子だけの遊びではない」「男の子のジャイアンが女の子がよくする遊びをしてもかまわない」など発言があったのは、3年生までの2年間に性の多様性の学習を積み重ねてきた成果だと思う。また、「好きなものは人それぞれちがう」、「相手が傷つく言葉を言ってはならない」という発言から、多様性を認める力、人権を大切にする力が育っているように思う。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>ほとんどの児童が「男の子がままごとをしてもおかしくない」と考えていたが、それでも「男の子の遊び」「女の子の遊び」という言葉を使っていたので、指導者が意識して児童の発言を拾い上げ、遊びを性別で分けていることについて指摘し、児童に考えさせる必要がある。</p>	